

地区：仙台市

震災遺構・伝承施設

ジャンル：施設見学

対象：

教育  
旅行団体  
旅行個人  
旅行

# 蒲生なかの郷愁館

## 学びのポイント

- 東日本大震災で災害危険区域になり、居住することができなくなった仙台市宮城野区の蒲生地区。地域がたどった歴史、出来事、自然などを伝える展示から、そこに住んでいた方々の暮らしを想像し、今もなお変化し続ける地域の姿、土地の記憶を未来へと継承して行こうとする人々の力強さを感じることができます。
  - 故郷を想う展示を通じて、ふるさととは何か、どのような存在か、どのように考えるかなど、ふるさと教育のおおもとになる問いに関連づけて学ぶことができます。
  - バイオマス発電所の見学も併せて行うことができます。蒲生なかの郷愁館(※)は、「杜の都バイオマス発電所」を運営する杜の都バイオマスエナジーが地域の伝承施設を望む住民の声に賛同し発電所内に設置しました。
- ※蒲生なかの郷愁館：施設名の「蒲生なかの」は蒲生地区、震災で閉校になった仙台市立中野小学校の通学区域を表しています。

## 1. 内容

### 説明

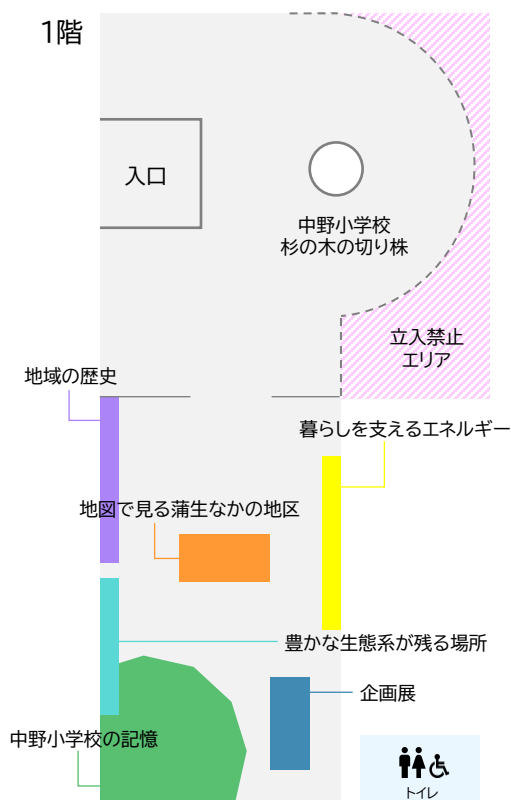
震災の津波被害をうけ、災害危険区域に指定された蒲生地区。震災前は約3,000名が暮らす住宅地でしたが、現在は土地区画整理事業によって工業用地となり、仙台港に隣接する一大産業拠点として姿を変えています。

蒲生なかの郷愁館は、合同会社 杜の都バイオマスエナジーが「杜の都バイオマス発電所」内に設置した震災伝承施設です。蒲生地区に住まわれていた方々が旧交を温め、訪れる方が土地の記憶や未来を想像する場になることを願って作られました。展示では、かつて何もなかった草原だった仙台平野の沿岸部が、藩政時代に米を仙台北下へと運ぶ中継拠点として繁栄した歴史、蒲生干潟などの自然とともにあった人々の暮らし、震災により143年の歴史に幕を閉じた中野小学校、工業用地として発展を続ける現在など、移り変わる地域の変貌や現在の役割について、写真やイラストを交えたわかりやすい解説文で紹介。展示内容の企画と運営は地区の旧4町内会で作られた「なかの伝承の丘保存会」と展示の制作チームの方々が担っており、展示物の案内も行っています(要相談)。また、仙台市と連携した震災伝承に係るイベント等も実施しています。

※バイオマス発電所の見学も併せて可能です。

[2024年3月3日から一般公開]

### <蒲生なかの郷愁館全体図>



#### 中野小学校 杉の木の切り株

学校のシンボルとして愛された切り株。校庭に立っていた杉の木は切り倒されてからも玄関で子どもたちを見守り続け、学校がなくなった今もふるさとで出迎えてくれます



#### 中野小学校の記憶

明治の時代から地域の子もたちが通い、人々が集った中野小学校校旗やアルバムなどの展示を通じて学校の思い出にふれることができます



#### 地域の歴史

貞山運河の開削により発展してきた地域の移り変わりや人々の関わりを年表から想像してみましょう



#### 地図で見る蒲生なかの地区

大きな影響をもたらした仙台港の建設、東日本大震災など、地域の出来事などを地図で紹介しています



#### 豊かな生態系が残る場所

震災を経てもなお、様々な生き物が集まり人々を癒す蒲生干潟。地域の人々と自然との関わりを学べます



#### 暮らしを支えるエネルギー

杜の都バイオマス発電所を含む宮城野区沿岸部にある施設の役割から、暮らしに欠かせないエネルギーについて考えてみませんか

## 2. 施設情報①

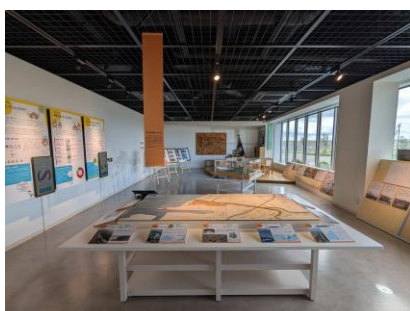
開館時間	10:00～16:00
定休日	毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日(土・日・祝を除く)、年末年始(12月29日～1月4日)、臨時休館日
所要時間	自由見学：30～45分
予約	<p>予約不要            ※個人・団体問わず、案内をご希望される場合は事前にご相談ください。「なかの伝承の丘保存会」、または展示の制作チームの方々が案内を行います。            ※バイオマス発電所の見学にも事前予約が必要です。</p> <p>&lt;申し込み方法はHPを参照&gt;            ・蒲生なかの郷愁館 案内申込み：<a href="https://mmb-energy.jp/visit/">https://mmb-energy.jp/visit/</a>            ・杜の都バイオマス発電所 見学申込み：<a href="https://mmb-energy.jp/visit/">https://mmb-energy.jp/visit/</a></p>
収容人数	30名程度まで
料金	入館・案内ともに無料

## 3. 学習教材・資料

事前・事後学習参考サイト	
--------------	--

## 4. 施設情報②

トイレ	男性用・女性用・バリアフリートイレ			
バリアフリー	売店	なし	食事	なし
その他	館内にAED設置あり			



## 5. オプション

### 施設内見学

#### 杜の都バイオマス発電所の見学

「環境負荷の少ない未来思考の発電所として、被災地域のシンボリックな存在に」という思いのもと、合同会社 杜の都バイオマスエナジーが設置したバイオマス発電所。

将来的なエネルギー対策への意識を高めてもらえるよう、工場見学を行っています。

蒲生地区にバイオマス発電所を建てた背景、地域の方との関わり、地球温暖化防止に貢献するバイオマス発電の仕組みなどについて、構内をめぐるながら分かりやすく解説します。

所要時間：60～90分

行程：①会議室での説明 ②構内一周の見学ツアー

人数：10～30名程度(原則10名以上から受け付けています)

学校団体の場合は2クラス(最大60名程度)の受け入れも検討しますのでご相談ください。

見学料：1名500円(税込) ※教育課程における校外学習等の場合は無料

見学希望日の1か月前までに、蒲生なかの郷愁館HPからお申し込みください


※申し込み方法はHPを参照 <https://mmb-energy.jp/visit/>



発電所の敷地内には地域の自然を再現したビオトープが整備されています



## 6. アクセス

所在地	〒983-0002 宮城県仙台市宮城野区蒲生4-1-1(杜の都バイオマス発電所管理棟1階) Googleマップ: <a href="https://maps.app.goo.gl/8qxssMXXUi4tN7oK9">https://maps.app.goo.gl/8qxssMXXUi4tN7oK9</a>		
駐車場	杜の都バイオマス発電所構内には来館者用の駐車場がございません。 近隣の駐車場:なかの伝承の丘(普通車38台、障がい者等優先2台、大型バス2台)		
アクセス	車	仙台東部道路 仙台港ICより約8分	
	その他	<p><u>路線バス利用の場合</u> JR仙台駅より仙台市営バスに乗り「蒲生・なかの伝承の丘前」(所要約38分)にて下車後、徒歩約3分</p> <p><u>タクシー利用の場合</u> JR仙台駅より約30分 または JR仙石線 陸前高砂駅より約10分</p> <p><u>電車利用の場合</u> JR仙石線 陸前高砂駅より仙台市営バスに乗り「蒲生・なかの伝承の丘前」(所要約8分)にて下車後、徒歩約3分</p> <p><u>レンタサイクル利用の場合</u> 地下鉄東西線荒井駅より「Uminote cycle」を利用して約30分 ※Uminote cycleの利用方法はこちら <a href="https://www.city.sendai.jp/project/sharecycle/0922.html">https://www.city.sendai.jp/project/sharecycle/0922.html</a></p>	
各地からの所要時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台駅から車で約30分</li> <li>・仙台空港から仙台東部道路を經由して車で約26分</li> <li>・松島海岸から三陸自動車道～仙台東部道路を經由して車で約24分</li> </ul>		

## 7. 災害時の対応

周辺の避難場所	<p>一時避難場所：杜の都バイオマス発電所 駐車場エリア 津波警報発令時の避難場所：杜の都バイオマス発電所 管理棟3階</p> <p>避難場所への経路は、館内の案内図を確認</p>
---------	--

## 8. その他

外国語対応	日本語表記のみ、英語案内については要相談
周辺施設	<p><u>なかの伝承の丘</u>：徒歩約3分 <u>蒲生日和山</u>：徒歩約10分 <u>蒲生干温</u>：徒歩約10分 <u>仙台市 南蒲生浄化センター</u>：車で約8分 <u>仙台うみの杜水族館</u>：車で約8分</p>

## 9. お問い合わせ先

蒲生なかの郷愁館

E-mail: info●mmb-energy.jp(●を@に変更してください)

サイト: <https://mmb-energy.jp/kyoshukan/>



### <仙台市宮城野区 蒲生北部地区周辺 略図>



#### なかの伝承の丘

蒲生なかの郷愁館のすぐ向かい、中野小学校跡地に追悼と鎮魂のために建てられた丘

慰霊塔「希望の鐘」、旧中野4町内会の歴史を伝えるモニュメント、中野小学校閉校記念碑などがあります



日和山へは徒歩で約10分、車で約1分

日本一低い山として、国土地理院により認定されている標高3mの山

山頂からは太平洋や蒲生干潟などの自然の雄大な景色を楽しめます